

# 今注目の楽譜&音楽書籍

## 「音楽する」は脳に効く

学研プラス  
2,200円(税込)  
重野知央著  
(尚美学園大学芸術情報学部教授)



子どもの脳開発、大人の脳の老化防止や認知症予防…脳に関わる全てに「弾く・聴く・歌う」が効果的!各分野の専門家による解説で、楽器演奏や歌唱、音楽鑑賞といった、音楽と脳の関係がわかります。

## キャメレオン竹田の開運ミュージック 聴くだけで運氣上昇! ONTOMO MOOK

音楽之友社  
1,980円(税込)  
キャメレオン竹田著



12星座別で開運につながる音楽を紹介するほか、仕事運、金運、恋愛・結婚運、健康運のカテゴリー別、いくつかの切り口で開運ミュージックを案内。

## 小学生のためのチャレンジ・ワークブック1

サーベル社  
1,045円(税込)  
遠藤蓉子著



姉妹編の「チャレンジ・ピアノ」の内容をサポートしながら、各ページの進捗がびたっと合っているという訳ではなく、独自のペースで丁寧に学んでいきます。

## 新版 ピアノの練習ABC

音楽之友社  
1,320円(税込)  
ル・クーペ著 安川加壽子 校訂  
『L'alphabet Op.17』は、1952年に『ピアノの練習ABC』として安川加壽子により翻訳された70年以上のロングセラー。『メソッドローズ・ピアノ教則本』の後に使う教材で、各曲に安川加壽子による練習方法の助言がつけられている。



## Piano Lesson 88 編集部

楽器・楽譜の総合卸商社 株式会社プリマ楽器

〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-1-8 Tel.03-3866-2221(担当:笹沼)

バックナンバーをプリマ楽器ウェブサイトでご覧いただけます!

閲覧・ダウンロードはこちらから

プリマ楽器 検索



<https://www.prima-gakki.co.jp/news88/>

# 作曲家のキモチ

File. 3



先日、とある取材で、今日までの音楽生活を振り返る機会がありました。

小さな頃から歌って踊ることが大好きだった私に、母が音楽の機会を作ってくれたのは3歳の頃。ごく普通の習いごととして近所の音楽教室に通いはじめました。はじめて作曲したのは4歳で、ごく短い曲ですが、今でも演奏できるほどよく覚えています。

小学生の頃はマーチングバンドでスネアドラムを叩くことに明け暮れ、中学校では某ロックバンドの“追っかけ”をしながらベースギターを弾いていました。高校生になると、歌とサクソとピアノの3人でバンドを組み、文化祭で毎年体育館でライブをしたり、ライブハウスに出入りしてはキーボードで破壊的な(もとい!無調の即興!)演奏をしたり…(笑)。と、こう見ると、正統的なクラシックの勉強をしてこなかったように見えてしまいますが…ピアノも大好きだったので、毎日弾いていました。毎日何時間も練習して、コンクールを次々受けて…という生活とは程遠いものですが、テレビや映画の音楽をピアノで弾くと、友だちが喜んでくれたし、学校の休み時間では、チャイムが鳴ると同時に音楽室に走って行って、私のためにピアノを占領してくれる仲間たちもいて、それが最大の喜びでした。音楽素人の母は、そんな私の演奏をいつもそばで、ただただ喜んで聞いてくれていました。きつと言いたいことは山ほどあったと思いますが、もし母に何か口うるさく言われていたら、私はこれほどまで自由に音楽を楽しんでこられなかったと思います。

高校生になって、大好きな音楽を仕事にしたいと考えるようになったとき、ロックも、TVやCMの音楽もピアノも、すべてに精通できるのは、作曲家なんじゃない?…母の助言もあって、少しずつ意識するようになりました。

ピアノの練習が、たまたま楽しくなったのは、作曲の勉強を始めてから。作曲家の意図を楽譜から読み解くことの、奥深さと方法を学び始めてから、ピアノの練習方法も、音楽の聞こえ方も変わっていききました。そして、私を変えてくれたのは、様々な書籍との出会いでした。

次号へ続く…



## 轟 千尋 プロフィール

作曲家。東京藝術大学卒、同大学院修了。日本フィル、九州交響楽団等のプロオーケストラなど数々の一流演奏家に作品を演奏されている。出版物多数。



第238号



# Piano Lesson 88

## レッスンに使える「あの手この手」と幼い子どもへの温かい想いが詰まったムック

### ONTOMO MOOK 幼児の心をつかむ プレ・ピアノレッスンのアイデア集

音楽之友社 『ムジカノーヴァ』編 1,430円(税込)



習い事の低年齢化により、ピアノに触れる前のプレ・ピアノレッスンが注目されています。このムックでは、幼児へのレッスンにあたって知っておきたい乳幼児の発達の特徴などの知識と、実践的な指導のノウハウや教材をご紹介します。

さらに『ムジカノーヴァ』の人気連載から、初めて音楽を学ぶ小さな子ども向けのレッスンに役立つ、音に親しむアイデアをまとめました。あなたも、幼児の心をつかむプレ・ピアノレッスンを始めてみませんか?

### ■連載執筆者から読者へのメッセージ 「はじめてのがくふ絵本 アミちゃんとおんぶのおさんぼ」 大道友萌子先生

楽しく譜読み慣れ親しめるような絵本にしました。色塗り教材やカードとして、また歌ったり体を動かしたりアイデア交換したり、ご家庭やお教室で子どもたちと笑顔のきっかけの一つになればいいと思います。

### 山本美芽先生

おんぶや記号の形は、じっと見ていると、なんだかかわいい。いろいろな「もの」や「もよう」に見えてきます。大人になって忘れていた、そんな素朴な見方を大道友萌子先生の視点で、もういちど思い出してみませんか。



### 「ピアノひよこちゃんのたのしい歌あそび」

#### 後藤ミカ先生

小さいお子さんは、歌うことや体を動かすことが大好き。でもリトミックをしたことがない先生はどのように取り掛かって良いのか悩むのではないのでしょうか。そんな時、この歌遊びを取り入れてみませんか?

### 「わらべうた de ソルフェージュ」

#### 井上史枝先生

わらべうたは、日本中どこにでもあつ、文字が読めなくても、歌える風習や自然をうたにしたもの。生活の中に自然にあつた、うた。それを、現代のレッスンで使っています。いや、使うというより、私も生徒さんたちと楽しんでます。ずっと入るわらべうたを目の前の生徒さんたちと、自由にうたって、そして、日本人の心として歌い継ぎたいですね。

### 「音遊びから始めよう」

#### 鈴木和子先生

レッスン案に音遊びの種を一粒忍ばせてみてください。子どもは遊びの天才、聴くことのプロ。柔らかな頭と澄んだ感性で音に親しみます。

ーレッスンに行くとなにか面白いことが起きるー



『ムジカノーヴァ』 毎月20日発売

「ピアノを学ぶ・教える・楽しむ人」を応援する月刊誌です。ピアノの指導法・演奏技術に関する注目企画はもちろん、「なるほど!」な読み物や大人の独習者にも役立つ楽曲分析や楽譜、とじ込み付録まで満載でお届けします。





## フンメル博士からの助言



### [シリーズ2] ピアノ・ピアニスト・ピアノ音楽 第41回

読者の皆様こんにちは。レッスンや練習は順調でしょうか?今月も、ロマン派直前に登場したモシェレスについてご紹介を続けます。さらにピアノ奏法において興味深い内容に言及したいと思います。

どうぞお楽しみに。 岳本恭治

#### ■ベートーヴェンの作品を積極的に弾いたモシェレス

モシェレスはピアニストとして初期のベートーヴェン弾きでした。

10歳の時に《ピアノ・ソナタハ短調作品 13「悲愴」》を完璧に弾きこなしていました。

晩年には《ピアノ・ソナタハ長調作品 109》や《ピアノ・ソナタハ短調作品 111》をプライベートなコンサートで積極的にピアニストの仲間を紹介していました。現代でこそこれらのピアノ・ソナタは大傑作として評価されていますが、当時においては「あまり知られていない作品」「危険な作品」として聴衆に理解されていませんでした。この難解な作品を世の中に知らしめたのはモシェレスのおかげであると言っても過言ではありません。モシェレスのコンサートでも《ピアノ・ソナタニ短調作品 31-3「テンペスト」》を弾くと聴衆はホッとしていたようです。さらに「荘厳ミサ曲」のロンドン初演や「第9交響曲」の指揮まで手がけました。

■モシェレスとメンデルスゾーンの師弟関係 経歴のところでも触れましたが、この二人の師弟関係はとても美しいものでした。

15歳のメンデルスゾーンをモシェレスが教えた時には、「他のどの天才よりも天才である」と評価し、彼の成長を大いにうれしく見守りました。またお互い「音楽を演奏すること」について何度も書簡を交換しました。とりわけ1829年にロンドンで二人がメンデルスゾーンの「2台のピアノと管弦楽のための協奏曲」を演奏した時には、「お互いとても楽しみました。お互いのモノマネをして弾いたり、

仲良く素晴らしい時間を共有しました。」と感想を述べています。メンデルスゾーンが1847年にモシェレス(1794-1870年)に先立ち、若くして亡くなった時の落胆は言葉では表現できないほどでした。



岳本 恭治  
(日本J.N.フンメル協会 会長)

#### ■モシェレスの信念

モシェレスはシリアスなピアニストとしても最初の人でした。

いわゆる単なるヴィルトゥオーゾではなく、芸術の高潔さを表現し、クララ・シューマン(シューマン夫人)やハンス・フォン・ビューロー(リストの高弟でリストの次女コジマの最初の夫、クラマー=ビューロー60の練習曲の編者)の先駆けとなりました。

#### ■モシェレスの国内版のご紹介

モシェレス 24の練習曲 作品70 (全音楽譜出版社)

チェルニーやクレメンティ、さらにフンメルの練習曲から引き続きショパンの練習曲の準備として重要な作品です。



これでモシェレスを終わります。では、また次号でお会いしましょう。

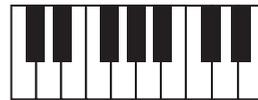
#### 岳本 恭治 Kyoji Takemoto

武蔵野音楽大学音楽学部ピアノ科及び国立音楽院ピアノ調律科卒業。ロンドン・トリニティカレッジグレード・ディプロマ取得。演奏活動と共にピアノ構造学・改良史・奏法史の研究者としてレクチャー、コンサートを国内外で行う。ムジカノーヴァ誌等に執筆。スロヴァキア国際フンメル協会より「フンメル賞」を受賞。著書「ピアノ・脱力奏法ガイドブック vol.1~3」(サーベル社)、「江戸でピアノを」(未知谷社)、「リフレッシュ・ピアノ・メソッド」(春秋社)等多数。現在、国立音楽院指導講師、日本J.N.フンメル協会会長、スロヴァキア国際フンメル協会名誉会員、全日本ピアノ指導者協会(PTNA)正会員。

岳本先生ホームページ: <http://hummel1778.com/>



## ピアノレッスンの今後



### ♪♪ Music Key Lesson ♪♪ 岩瀬洋子・田村智子

以前お話しした80歳で初めてピアノを始められたMさん…その後です。

Mさんのやる気はそのまま維持されています。午前・午後30分ずつ、時間があれば夜も練習されるようです。「先生～、ちょっと腰が痛くなるんですよ～。姿勢が悪いからでしょうかね～」弾く姿は悪くない…少々上半身に力が入っているようには見えますが、肩は張らないとのこと。「まあ～あまり根をつめないようにね。」とお答えしましたが…原因はなんでしょ～(^^;先日、大人の生徒さん5～6人による”コンサート”がレッスン室で行われ、Mさんも参加することになりました。

曲目は、「ふるさと」と「さくら」の2曲です。Mさんの夢だった両手での演奏です。初めてののお披露目ですから、何とか成功させたい…と皆さんも心から願う中…演奏が始まりました。緊張されているせいか、最初の音が出ません。すると「あれ?変だなあ～もう1回やり直していいですか?」と、いつもと違う自分に緊張感みです。皆さんにもその緊張が伝わり何とかその場の雰囲気やを和らげようと「だれでも緊張しますよ～だから何度でも大丈夫ですよ～」と皆さんのやさしい言葉かけに励まされ、Mさんは再度弾き始めました。そして何とか最後まで弾ききることができました。思わず大拍手!「すごい!すばらしいです!!」「やあ～ほんとは家では間違えないで弾けたんだがな～」まざらではないMさんの笑顔にみなさんもほっとされた様子です。

コンサート後のレッスンです。「先生～ぼくね、この曲弾けるようになりたいんだよね～」楽譜を見ると「アメージンググレイス」です。実は、Mさんが好きな曲ということをお聞きしていたので、コンサートの最後にきれいにアレンジされたものを弾かせて頂きました。その時、その楽譜をMさんに差し上げたのです。で～その曲にチャレンジしたい…ということのようです。正直、今のMさんにはちょっと難しいけれど、方法はある…そこで「そしたら少しずつ進めていきましょう。それと、指の動きや音読みの訓練も今までのように続けましょうね。」「はいはい、時間はたくさんあるから。」とやる気満々です。今Mさんの進捗は…①テクニックは、「GO!フィンガーズ!」が後半になってきました。

②譜読みは、「ソーヨひめとファーデスおうじ」がステップ3③リズムが、「オリズムピックA」のくみたいそう。それとお好きな曲です。

「先生～いくつかになっても進歩できるってうれしいね～知らないことがまだまだ一杯あって…思い切ってピアノを始めてほんと良かったよ～」Mさんの言葉にこちらのほうこそ、教えて頂くことが一杯です。ピアノを始める最適な時…それは「弾きたい」と思った時、年齢は関係ないな…と心から思いました。(\*^-^\*)

♪ミュージック-お問合せは

musickeynagaizumi@gmail.com

【岩瀬洋子によるピアノ導入指導講座】

10:30-12:30(録画受講可)表参道カワイ:パウゼにて  
3/8(木)「実践編/あの名曲が弾ける!生徒が楽しくチャレンジできる声掛け満載!」

『生徒がやってきた!生徒・保護者への対応…一番はレッスン内容!』

5/18(木)《入会決定のカギは「体験レッスン!」?》

7/13(木)《入会して、3～6ヶ月が勝負どころ!》

9/21(木)《入会して早1年!レッスンの舵取りはだれ?保護者との関係は健全?》

『練習しない生徒へのレッスン方法…これなら音楽好きになる!』

11/22(木)《ソルフェージュ力を付けることが重要なカギ!》

1/24(木)《生徒が「分かった!できた!」を実感できることが「続ける」秘訣》

3/13(木)《生徒のやる気・保護者の心をつかむ魔法の言葉》

### プリマミュージックのレッスンノート ピアノ柄8点再版しました!!

お洒落なデザインで、見開きで1ヶ月分のレッスンを振り返ることができ、自由に使えるシンプル設計のレッスンノートが再版上がりしました。

レッスンの記録にご活用ください!  
各220円(税込)

